



さんないまるやま つうしん

第 16 号

平成12年1月27日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1

TEL (0177) 22-1111 (内5251・2)

FAX (0177) 34-8280

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030-0813 青森市松原1丁目14-11

TEL (0177) 74-0455

FAX (0177) 74-0456

# 三内丸山通信



## 検証

## 三内丸山遺跡

—三内丸山遺跡・縄文シンポジウム'99—

十二月五日、東京有楽町朝日ホールで「三内丸山遺跡・縄文シンポジウム'99」が開催されました。今年で五回目になります。今年のテーマは「検証三内丸山遺跡—5年間の成果を振り返る—」で、遺跡保存決定後の発掘調査や研究の成果について取り上げました。当日は首都圏を中心に五七〇名の方々が参加し、盛況でした。

第一部として、発掘調査の最新情報の報告がありました。環状配石墓は道路に沿って七基列状に配置され、さらに北側からいろいろな形態の配石や墓が見つかり、長期間にわたり大規模な墓地が作られていたこ



とが判明しました。道路は南盛り土西側の建物群の間に続いていることもほぼ確実となりました。

第二部の話題提供では、「盛り土と土偶」について、これまでの分析結果が報告されました。盛り土は廃棄の繰り返しで形成されたものと考えられ、土偶・装身具類・ミニチュア土器などが多数出土し、それぞれ集中する地点に偏りがあることが判明しました。これらからまづりが行われていた可能性も指摘されました。

「石器から見た交流の様子」では、磨製石斧や配石の石材の入手経路、原産地やその変遷について

分析しました。特に黒曜石は石器の種類によって原産地の違いが見られ、縄文時代の交流・交易が複雑であったことが報告されました。

「五年間の調査と研究のまとめ」では、東西や南北の道路跡の発見から、あらためて大規模集落であったことが報告され、また当時の生活環境が解明され、クワやウルシが栽培されていたことが確認されました。

以上の報告をもとに第二部では、佐原真さん（国立歴史民俗博物館）の司会で、辻誠一郎さん（国立歴史民俗博物館）や岡村道雄さん（文化庁）らにより、三内丸山集落の範囲や姿、人口の考え方、東北部における三内丸山遺跡の特徴などについてパネルディスカッションが行われ、多くの方々が熱心に耳を傾けていました。





# 新メニューも大人気！ 勾玉作り

十二月十一日、勾玉作りまがたまの体験学習が行われました。当日は九〇名近い参加者でにぎわいました。材料は比較的柔らかい滑石せきを使用しました。もみぎり式の棒で穴を開けましたが、なかなか進みません。それでも、準備した鉄製の錐かを使う人は少なく、みんな縄

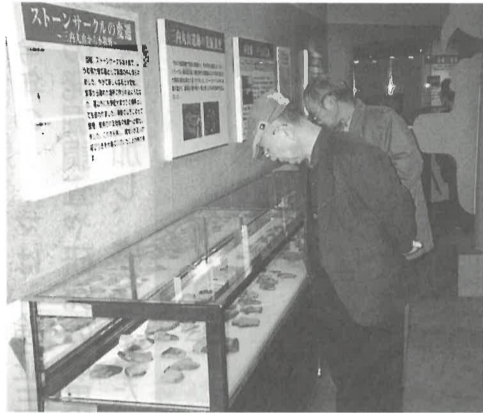
文時代に戻ったような道具で汗を流していました。磨きあがった勾玉に参加者の皆さんは満足そうでした。お母さんと一緒に来ていた加藤翼君・まりちゃんは、「穴を開けるのはとても大変。でも削るのは簡単だった」と感想を話してくれました。



うまく穴はあいたかな？

## 活彩あおもり大祭典'99 in 東京ドーム

十一月二十六日から二十八日に「活彩あおもり大祭典'99」が東京ドームで開催されました。期間中は四〇万人以上の人が訪れました。「三内丸山遺跡と北の歴史街道」コーナーでは三内丸山遺跡が紹介され、来場者は展示されている遺物やパネルを熱心に見ていました。



好きですさんまる②

### 『三内丸山応援隊』

三内丸山応援隊は、三内丸山遺跡を広く皆さんに紹介するため平成七年に結成され、今年で五年目を迎えました。この応援隊の中心になっているのが遺跡ボランティアです。結成当初は五五人でしたが、現在では一八名が遺跡に関するポ



# さんまるのQ&A

Q 動物や魚の種類はどうして分かるのですか

A 三内丸山遺跡の谷などの低地からは、縄文人が食べた動物や魚の骨が多く見つかります。これまでの研究により、当時の動物や魚は現在とほぼ変わらないことがわかっています。です

から、現在の骨とよく比べることによって種類がわかります。整理室には市場で手に入れた様々な種類の魚の骨が、標本となって活躍しています。



出土した魚（マダイ）の骨

## 大型掘立柱建物を ライトアップ

十二月十八日から一月十日まで、遺跡のシンボル大型掘立柱建物がライトアップされました。今年で四回目になります。ライトで照らされた大型掘立柱建物は、雪景色の中できれいに浮かび上がっていました。訪れた人は、寒さも忘れて見上げていました。

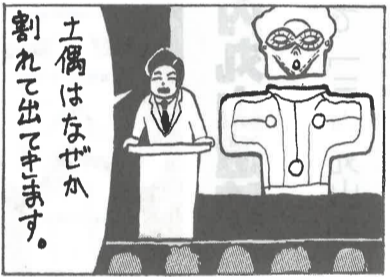
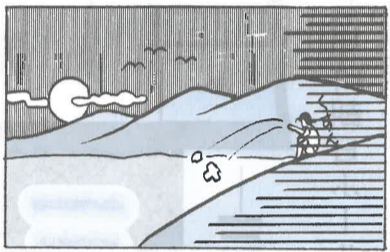
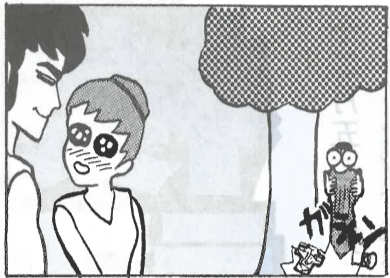


## 情報展

現在、「縄文時代の縄」と題して、縄文土器に付けられた「縄文（縄目のもよう）」の展示を行っています。

「縄文」といってもその種類は多く、時代や地域によって流行があります。縄文のうつりかわりや、作り方、「縄文」を付ける目的などについて紹介しています。

## サンタイムズのなかまたち 土偶にモデルはいるの？



ランテニア活動を行っています。その内容には遺跡のガイドや体験学習の補助などがあります。また冬には、より良いガイドができるように研修にはげんでいます。これからも初心を忘れず、見学者の方に喜んでいただけるようにがんばってほしいと思います。

## 三内丸山遺跡の ごあんない

- 見学時間 9:00~16:30 (入場は16:00まで) ボランティアガイドの定時説明は4月1日より再会します。
- 交通手段 市営バス 青森駅から運転免許センター行き 三内丸山遺跡前下車
- その他 園路は除雪を行っていますが、歩きやすい靴でおこしてください。